

文化の丘

静岡県立中央図書館だより

令和7年9月号
(ISSN 1345-2282)

No.378

- 1 “県立”図書館を知っていますか？
- 2 知ってください
静岡県立中央図書館
- 3 静岡県立中央図書館
イベント情報

“県立”図書館を知っていますか？

写真は静岡県立中央図書館の
閉架（利用者が入れない）書庫の様子です



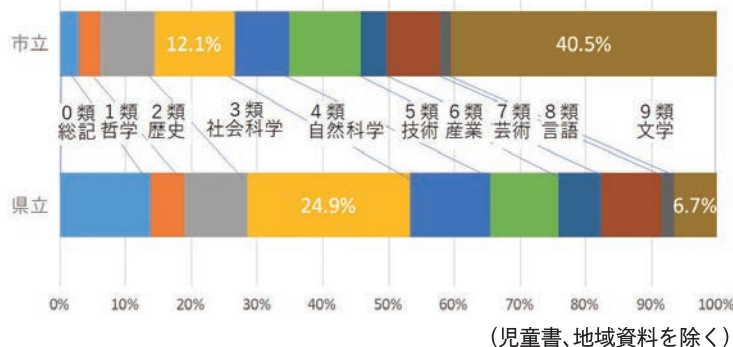
市町立図書館が除籍（利用の少なくなった資料を処分）を行いながら利用者の身近なニーズに応えているのに対し、**県立図書館**では、原則としてすべての資料を保存し、県民の専門的な調査研究の県内最後の拠り所として機能を果たしています。



古い本がぎっちり詰まってるな。雑誌もバックナンバーがそろっているね。古い本、必要あるのかな？



グラフは、県内のある
市立図書館と県立中央図書館とが
1年間に受け入れた資料の割合を
示したものです。



私の読みたい小説は県立図書館にはあまりないみたい。どうしてかな？



市立図書館では「文学」が40%も占めているのに対し、**県立図書館**では7%程度。代わりに「社会科学」などの比率が高くなっています。蔵書構成に大きな違いがあります。



静岡県立中央図書館は今年で創立100周年。
よく知っているという方も、知らなかったという方も、
この機会に**静岡県立中央図書館**のこと、ぜひ知ってください。



知ってください 静岡県立中央図書館



住民のニーズに真っ先に応えるサービスを提供するのは身近な市町立図書館。県立図書館は、身近な市町立図書館を支援するなど、県内全域の図書館サービスが充実することを目指しています。

静岡県の情報拠点

～豊富で専門的な蔵書構成～

特に、**静岡県に関する資料は集中的に集めています**。近くの図書館で見つからなかった本もここにならあるかも。



閲覧室と書庫にたくさんの蔵書(令和6年度末97万5千冊、雑誌1万タイトル)を保管しています。

市町立図書館との役割分担により、ベストセラーの小説などはおいていませんが、市町立図書館では購入が難しい**専門性の高い資料を中心に構成**されています。

県と市町とがタッグを組んで幅広いニーズに応えています。

蔵書は、市町立図書館とは異なり原則として古い本を捨てず、保管しています。**【永年保存】**

専門的で豊富な蔵書をもとに、**高度なレファレンス**に対応しています。スマートフォンで手軽に情報が得られる便利な時代になりましたが、情報が氾濫した中で情報の正しさの裏付けが必要な時は図書館の出番です。市町立図書館で解決出来なかった時にはぜひ県立図書館を思い出してみてください。



県内図書館を 物流で支える

～協力貸出・相互貸借～

資料をWeb上で一括して検索できるシステムを運用しています。

【おうだんくんサーチ】

県内の各図書館が自館で所蔵していない資料を他館から借り受けることができる体制を構築し、物流のハブとなって県内図書館全体を支えています。**【相互貸借】**

県民のみなさまが様々な本を手にとることができるよう、県内図書館をつなぐネットワークを作っています。



市町立図書館の振興のために

県内の市町立図書館を「**協力車**」で定期的に訪問し、運営相談や情報交換を行っています。

県内図書館職員の資質向上や技術習得のため、様々な**研修を開催**しています。



調査・研究

県内図書館の状況について定期的に調査し、「静岡県図書館」としてまとめています。課題解決型支援など近年新しく図書館に期待されている機能について、市町立図書館の参考となるよう先行的に研究・試行しています。



こどもの本全部あります～子ども図書研究室～

平成15年以降刊行の**児童書の全点収集**(マンガ、ゲーム攻略本、学習参考書を除く)を実施して、市町立図書館や読み聞かせグループなど子どもと本をつなぐ大人の支援をしています。実物を見て、子どもたちに提供する本を選ぶことができます(利用は中学生を除く15才以上から)。職員が選定したリストの公開や、職員による新刊児童図書の紹介、新刊児童図書の巡回展示や講演会の開催なども行っています。



貴重な遺産を未来へ～ふじのくにアーカイブ～

葵文庫などの貴重な特殊コレクションや静岡に関する資料等のデジタル化を進め、**デジタルライブラリー**として提供しています。県内行政資料のPDFデータも収集・公開しています。

また、富士市など県内5市のデジタルデータも一部閲覧可能です。県内市町立図書館の所蔵するデジタル画像と併せて、貴重な資料を未来へつなぎます。



いつでも、どこでも～電子図書館サービス～

パソコン、スマートフォン、タブレットから、24時間いつでもどこからでも**電子書籍**を楽しむことができます。主に「学習」、「仕事」、「QOLの向上」の3つをテーマとした、知識の拡充及び経験の補完を支援する資料を提供しています。





静岡県立中央図書館 イベント情報

創立100周年!

実施
しました!



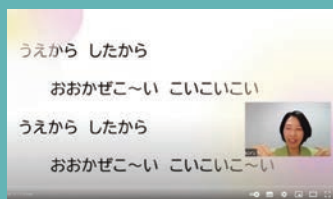
子ども図書研究室講演会

7月15日(火) 14:00～16:00

テーマ:「豊かな心を育む絵本の世界」

講師: 瀧 薫氏 (社会福祉法人子どものアトリエ理事長)

発達に沿った絵本の選び方やわらべうたなど、子どもたちにとって「心の栄養」とも言われる絵本をテーマに講演いただきました。オンライン形式により幼児教育関係者を始め、多くの方に御視聴いただきました。



当館YouTube
チャンネルにて、
動画配信も実施。

配信期間

7月29日～10月31日

その他にも

7月30日(水) まちの保健室

8月2日(土) 第1回子ども図書新刊紹介

7月24・25日、8月6・7日

中高生職場体験学習

祝
100周年



夏休み子ども図書 スペシャルウィーク

100周年の今年は、特に充実した内容の7講座を開催。たくさん子どもたちが参加してくれました。

7月28日(月) ユニバーサルデザイン絵本手作り教室
(静岡文化芸術大学教授 林左和子)

8月1日(金) 草薙神社龍勢花火について学ぼう!
(草薙神社龍勢保存会)

8月2日(土) 親子で挑戦! 英検4級 (当館館長 高橋健二)

8月2日(土) 親子図書館ツアー (当館職員)

8月3日(日) 作って見せる! 工作マジック
(マジシャン蓬生)

8月5日(火) ふじっぴーの親子グラフ教室
(静岡県統計活用課職員)

8月8日(金) 親子植物教室～種を遠くに飛ばそう!～
(ふじのくに地球環境史ミュージアム 早川宗志)
(講師名敬称略)



企画展示

4月2日(水)～4月29日(火) さくら写真展

5月31日(土)～6月29日(日) JICA海外協力隊写真展

7月23日(水)～8月28日(木) 草薙神社龍勢花火展

今後の開催

現時点の予定です。詳細は決まり次第、
当館Webページ等でお知らせします。

創立100周年特別企画

静岡県立中央図書館創立100周年記念講演
令和7年10月25日(土)

「静岡県立中央図書館百周年に寄せて
県立図書館の存在意義と図書館探究」

講師: 鈴木善彦氏 (静岡産業大学理事長)

「図書館これからの100年」をテーマにパネルディス
カッションも予定しています。

企画展示(仮) お宝発見? 収蔵庫に眠る珍品・奇品

令和7年12月上旬～令和8年1月中旬

3階 展示室にて

館内クイズラリー・スペシャル館内ツアーなども計画中

ふじのくに文化の丘フェスタ 図書館講座「葵レク」

くずし字解読講座

令和7年10月16日、21日、23日、28日 全4回 3階中集会室

講師: 歴史文化情報センター職員

オンラインデータベース活用講座「暮らしに役立つ法律講座」
～法情報データベースの使い方・活かし方～

令和7年10月18日(土) 3階中集会室

講師: 山内享郎氏 (第一法規株式会社)

貴重書講座「静岡県立葵文庫とその事業」

令和7年11月1日(土) 3階会議室

講師: 青木祐一氏 (葵文庫の会)

城址講座「新発見の「駿府御城内絵図」について
～絵図から見た、天守の姿～」

令和7年11月2日(日) 2階講堂

講師: 加藤理文氏 ((公財)日本城郭協会)



などなど、
計画中です。